

## 令和 7 年第 4 回境港警察署協議会開催状況

開催日時	令和 7 年11月20日 (木) 午前 9 時15分から午前11時45分まで	
開催場所	境港警察署、境港市竹内団地内境夢みなとターミナル	
出席者	委員 (定数 6 人)	伊佐治会長、持田副会長、松本委員、土川委員、三瀬委員 以上 5 人
	警察	谷本署長、金氏管理官、小椋生活安全刑事課長、穂山交通課長、 警務課員 2 人 以上 6 人
議 事 概 要		
<p><b>1 挨拶</b> 会長、警察署長から、挨拶があった。</p> <p><b>2 治安概要等説明</b> (1) 生活安全刑事課関係 生活安全刑事課長から、令和元年以降令和 7 年10月末現在までにおける刑法犯認知件数の推移、特殊詐欺認知状況等について説明があった。委員からの質疑等と、それに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：近年詐欺被害者の低年齢化が目立つが、どのような理由からか。 警察：詐欺には様々な手口があるが、儲け話に誘い込まれて詐欺被害に遭う手口や各種料金の未払いを名目にした手口など、SNS を利用した手口が増加しているため、若年層の被害も増えているものと思われる。被害に至る前に警察に相談した事案についても、高齢者からの相談だけではなく、若年層からの相談もある。また、高額被害の傾向として、相手を完全に信用してしまい、長期間複数回にわたって金銭を振り込んだ結果、多額の被害になってしまったケースもある。 様々な手口の最新情報について、高齢者のみならず若年層にも周知するため、県警察のエクス、インスタグラム、ユーチューブ等のリンク先の二次元コードを記載したカードを様々な機会に交付するなど、被害防止の広報活動を強化している。</p> <p>(2) 交通課関係 交通課長から、令和 7 年10月末現在と昨年同期における交通事故の発生件数とその特徴等について説明があった。委員からの質疑等と、それに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：余子小学校の通学路となっている境港総合技術高等学校北側道路について、道路の一方が用水路で、速度規制も40キロメートル毎時となっていることから、通学中の児童に危険が生じることがあるため、30キロメートル毎時規制にしたり、速度を抑制する対策等は可能か。 警察：実状を確認した上で検討する。 委員：先日逆走車両を立て続けに 2 台目撃したが、警察は把握しているか。 警察：市民の方から目撃通報を受けたり、パトロール中の警察官が現認したりと、その都度対応している。</p> <p><b>3 視察</b> 委員は、境港市竹内団地内境夢みなとターミナルにおいて開催された、境港港湾危機管理テロ対策訓練の視察を行った。</p> <p><b>4 連絡事項</b> 次回協議会は、令和 8 年 2 月中旬頃に開催する予定である。</p>		

